

消化器外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	腸回転異常症/中腸軸捻転の病態についての検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	消化器外科 助教 加藤翔子
研究の対象となる方	2017年4月から2024年12月までに当院で腸回転異常症に対して手術を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>腸回転異常症/中腸軸捻転は新生児から成人まで発症する病気で、腸管固定異常により様々な症状と経過を示します。新生児期には胆汁性嘔吐を主とする腸閉塞症状で発症しますが、幼児期以降になると経過がより複雑となり、診断・治療が困難となる傾向にあり、病態を検証する必要があります。</p> <p>[利用方法]</p> <p>腸回転異常症/中腸軸捻転に対する手術(Ladd手術:腸を固定する靭帯を剥離して、閉塞症状を解除して捻転を防止する手術)を施行した患者さんの症状経過、検査所見、手術所見等の情報を収集します。収集したデータは個人が特定できない状態にした上で、発症年齢ごとの病態について検討・解析します。研究期間中は消化器外科医局でデータを厳重に保管し、研究終了後5年間、又は結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日まで保管した後に廃棄します。この研究に関する資料を入手・閲覧したい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料: 非該当 情報: 電子カルテより年齢、性別、症状、画像所見、手術所見、術後合併症などを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究	非該当

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年11月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22121）